

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p>1 高齢者家族の介護へのサポートを（35分）</p> <p>平成28年の国民生活基礎調査によると、65歳以上の介護の必要な高齢者がいる世帯のうち、ケアをする家族も65歳以上なのは54.7%にもなります。お互いが75歳以上という世帯も実に30%を超えています。</p> <p>高齢化や核家族化が進む現在、こうした高齢者が高齢者を介護する老老介護の世帯が増えていることが明らかになりました。</p> <p>介護が必要になった原因では認知症（18.0%）が1番多く、さらに要介護1以上では、認知症が原因の方が24.8%と約4人に1人の割合になっています。</p> <p>このことから、高齢者が高齢者を介護することに加えて、お互いが認知症である認知介護も珍しい事ではないことがわかります。</p> <p>高齢者世帯のリスクとして、火の不始末など日常生活の維持や食事の概念が抜け落ちての栄養失調などが考えられますが、さらに不安なのは、一緒に暮らしている人がいるということから、周囲から気が付きにくいということです。</p> <p>介護保険制度は、一人ひとりのケアの仕組みなので、一緒に暮らす家族や、特に高齢者同士のケアをサポートするものではありません。</p> <p>市の高齢者福祉課や地域包括支援センターは、介護保険を利用する以前にも多様なケースを想定して相談することもできますが、残念ながら、浸透しているとは言えません。ケアする子どもも高齢者になる時代、今のままの仕組みだけで、安心して老いることができるのでしょうか。</p> <p>平成24年4月に一部改正された介護保険法は、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の実現を念頭においた内容となっています。</p> <p>かつて言われた家族の「介護地獄の再来」とならないために、当市の施策をうかがいます。</p> <p>(1) 当市の高齢者世帯の在宅介護の現状について ア 高齢者が高齢者を在宅で介護している家庭の割合は。 イ 高齢者世帯の在宅介護を把握する方法は。</p> <p>(2) 在宅介護の抱える課題について ア 介護者の悩み・課題の分析は。 イ 介護者の悩み・課題の解決方法は。</p> <p>(3) 在宅介護の負担を軽減する対応について</p> <p>(4) 地域のネットワーク化について</p>	市長

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p>2 一人ひとりの子どもに合った支援を（25分）</p> <p>発達障害は、自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥・多動性障害など様々であることと、個人の特性なのかが判断しづらい年齢によって状態像が大きく変化することなどから、見えない隠れた障害と言われてきました。</p> <p>平成 17 年に発達障害者支援法が施行され、発達障害の早期発見、発達支援を行うことに関する国及び地方公共団体の責務、発達障害者の自立及び社会参加に資する支援を初めて明文化しています。</p> <p>学校教育法に、特別支援学級と通級指導に関する規定が加わり、発達障害への理解は徐々に広がってきました。</p> <p>平成 28 年に施行されたいわゆる障害者差別解消法により、発達障害のある子どもたちに、学校が「合理的配慮」をすることが義務付けられていますが、現実には、適切な支援がなく、不登校になってしまう子どももいるようです。</p> <p>1 月、文部科学省の方針で、通級指導のできる教員を増やす取組が始まるという報道を読みました。</p> <p>通級指導を受ける子どもたちは、平成 19 年から 29 年の 10 年間で、約 2.4 倍に急増し、中学生に限ると約 5.5 倍に増えているということです。</p> <p>しかし、校内で通級指導を受けられる公立の小学校は全体の約 22%、中学校は約 9%という現状です。通級指導をする専任教員数を増やすという内容でした。</p> <p>鶴ヶ島市は、栄小学校と鶴ヶ島第一小学校、そして富士見中学校の 3 校に通級指導教室がありますが、校内で通級指導を受けられない現状から、希望しても受けられないケースもあるのではないのでしょうか。</p> <p>発達障害への理解を進め、一人ひとりの児童・生徒の特徴に合った支援が受けられる、誰もが持てる力を発揮できるようにしていくためにできることをうかがいます。</p> <p>（1）鶴ヶ島市の通級指導教室について</p> <p>ア 通級指導を受ける児童・生徒数の推移は。</p> <p>イ 校内で受けられない児童・生徒への対応は。</p> <p>（2）通級指導のできる教員について</p> <p>ア 通級指導のできる教員数の割合は。</p>	<p>市長 教育委員会教育 長</p>

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p>イ 研修等の実施について</p> <p>(3) 個別指導計画の義務化に向けての対応は。</p> <p>(4) 保護者や地域との連携について</p> <p>ア ペアレントトレーニングの取組は。</p> <p>イ NPO 団体との連携は。</p>	